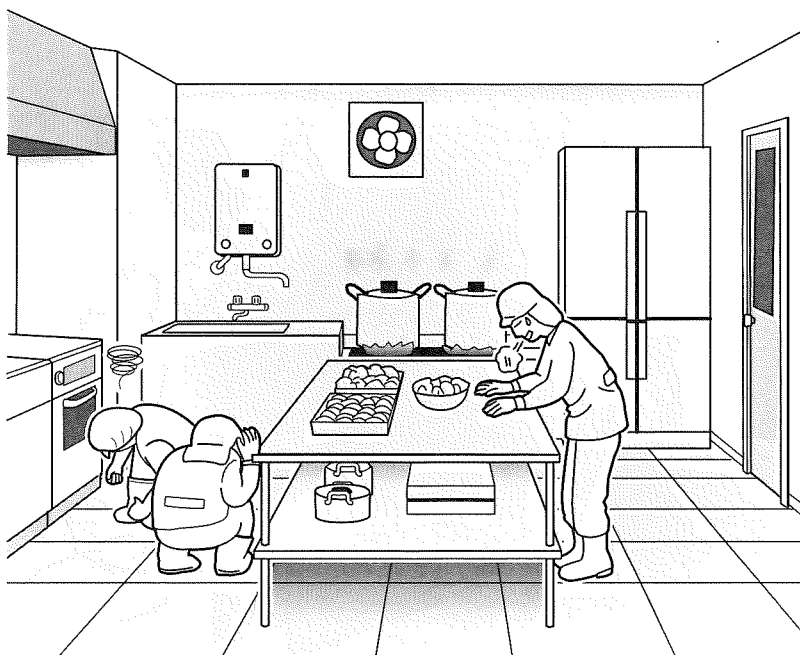


厨房の排気不良で3人がCO中毒

寒いので換気扇を稼働しなかった



《災害のあらまし》事業所の食堂調理室で、女性職員3人が昼食の準備のためにガス調理器並びにガス湯沸器を使用していたが、冬の朝で室内が寒く暖房が効かないため、窓及び出入口の扉を閉めて換気扇を止めたままの状態で作業していたところ、3人が次々に頭痛などの不調を訴えて倒れ、救急車で病院に搬送されました。

《災害の主な原因》

- ①換気扇を稼働せず窓や出入口の扉を閉めていたため、調理室内に滞留してきた一酸化炭素(CO)を吸入したこと。
- ②ガス器具を使用した場合のCO中毒等についての危険性について認識がなかったこと。
- ③ガス器具の使用に伴う危険性及び換気的重要性について、安全衛生教育がなされていなかったこと、など。

《同種災害の防止対策例》

- ①ガス燃焼機器の使用は、十分な換気能力を有する換気扇等の稼働による換気の徹底を図る。
- ②ガス燃焼機器を使用したときは、自動的に換気装置が稼働するシステム、または、一酸化炭素が一定量以上発生したら、警報で知らせる等の装置を設置する。
- ③ガス器具の適正使用についてマニュアルを作成し、関係作業員への周知・徹底を図る。

※平成21年12月7日・厚生労働省の「業務用厨房施設における一酸化炭素中毒災害による労働災害の防止対策」等を参照する、など。

ガソリンの容器が倒れ、火災で3人負傷

容器のフタをきちんと閉めていなかった



《災害のあらまし》 建築工事現場で、部材のアー
ク溶接作業を行っていたとき、アーク溶接機用
発電機のそばのガソリンのポリ容器（20ℓ）に溶
接用コードが引っかかって容器が倒れ、ガソリ
ンが流れ出したところにアーク溶接の火花が引
火して火災になり、本人と消火に当たった作業
者ら3人が重軽傷の火傷を負いました。

《災害の主な原因》

- ① ポリ容器の置き場所が不適切だったため、溶接コードに引っかかって容器が倒れたこと。
- ② ポリ容器のフタがきちんと閉められていなかったため、容器が倒れた際にフタが外れてガソリンが漏れ出したこと。

③ 溶接作業者は、ガソリンが漏れ出したことに気付かなかったこと。

④ 火災時の消火並びに避難等の緊急行動が不適切だったこと。

⑤ 溶接場所の3Sが不適切だったこと、など。

《同種災害の防止対策例》

- ① 溶接等の火花が発生する作業の付近には引火性、可燃性のものは置かない。
- ② 可燃性物質等の入った容器のフタは、必ずきちんと閉めるよう習慣化する。
- ③ ガソリン等の取扱者には、消火器の配置や使用、緊急時の処置等について教育・訓練を行う。
- ④ 溶接等、火気を使用する作業場及び作業箇所は常に3Sを心掛け実行する、など。

事故・災害事例から

荷を抱えて歩行中 転倒して50日の休業災害

通路の障害物に気付かなかった



《災害のあらまし》運送事業所の作業員(男性・23歳)は、スーパーの開店前の時刻、商品の入った段ボール箱を2段重ねて店内通路を運搬中、通路に置いてあった段ボールに足を引っ掛けて転倒し、床に右膝を強打して、休業50日間の災害となりました。

《災害の主な原因》

- ① 店内の通路上に段ボールが置かれたままになっていたこと。
- ② 被災者は前方が見えないほど段ボールを重ねて運搬していて、床の障害物に気が付かなかったこと。
- ③ 開店直前で、被災者もスーパーの従業員も皆気が急いでいたこと、など。

《同種災害の防止対策例》

- ① 通路上に商品の段ボールや容器などを放置しないことを徹底する。
- ② 足元が見えにくい状態で荷を運んだりしないよう作業方法を見直し改善する。
- ③ 転倒危険場所にステッカーなどの表示で転倒の危険を「見える化」する。
- ④ 開店等、始業前は作業が錯綜し、急がされることが多く、事故や災害等の不安全行動を起こしがちになる。始業前の作業手順書を策定し、徹底を図る。
- ⑤ 「開店準備作業」のリスクアセスメントを実施し、事故や災害、トラブル防止対策を立てて実行する、など。

労災・事故速報

(最近の新聞等から)

- ・住宅地でクレーンが横転、作業員がケガ。12月25日午前、滋賀県大津市の住宅新築工事現場で、基礎工事をしていてクレーン車が横転、操縦していた40代男性作業員がケガ。倒れた際電線に引っかかり、周辺の3軒が停電。(中日新聞)
- ・道路作業中のトラックにトレーラーが追突、7人死傷。12月22日午後、北海道千歳市の国道で、道路維持作業で停車していたトラック2台にトレーラーが追突。作業していた7人が巻き込まれ、2人が死亡、5人が重軽傷。(STVニュース)
- ・落下したコンクリート塊の下敷きで死亡。12月21日午後、島根県松江市の原子力発電所の廃棄物処理施設で、基礎を強化する工事をしていて男性作業員が、落下したコンクリート塊の下敷きになり死亡。(山陰中央新報)
- ・道路が陥没しショベルカーが埋没。12月19日午後、大阪府高槻市の住宅街で生活道路が突然陥没し、道を通っていたショベルカーが埋没。(MBSニュース)
- ・橋桁の連絡用通路から転落。12月19日午後、茨城県五霞町の首都圏中央連絡自動車道の工事現場で、50代男性作業員が高所作業車のパケットから高さ約15mの橋桁の検査用通路に移動した際に転落。(茨城新聞)
- ・産廃処理場のコンベヤーに巻き込まれ死亡。12月18日午前、山口県田布施町の産業廃棄物中間処理場で、ベルトコンベヤーの点検をしていた60代男性作業員がコンベヤーのローラーに上半身を巻き込まれて死亡。(中国新聞)
- ・窓清掃作業中に転落して死亡。12月18日午後、大阪府寝屋川市のビジネスホテルで、ロープで吊るされた板に座って窓の清掃をしていた60代男性作業員が、5階付近(高さ約12m)で作業中、座った板ごと転落して死亡。(産経新聞)
- ・岸壁で作業中、風にあおられ転落、死亡。12月17日午前、静岡県西伊豆町のホテルで、立地する崖の斜面で作業をしていた30代男性作業員が、風にあおられて高さ約20~30mから海に転落して死亡。(静岡新聞)
- ・除雪車が河川敷に転落、運転者が死亡。12月17日午前、兵庫県新温泉町で、雪かき作業中の除雪車が誤って4.3m下の河川敷に転落、運転していた60代男性が意識不明の重体で病院搬送、のちに死亡。(関西テレビ)
- ・資材置き場で金属板落下、実習生が死亡。12月13日午前、三重県伊賀市の建材部品製造会社の資材置き場で、クレーンで移動中の重さ約16tの金属板が約1.5mの高さから落下、20代男性の技能実習生が押しつぶされて死亡。(伊勢新聞)
- ・重さ12トンのコンクリの下敷きで死亡。12月13日午前、三重県四日市市のプレキャストコンクリート製品工場の作業場で、70代男性作業員が倒れたコンクリートブロック(重さ約12t、高さ約3.8m、幅1.8m)の下敷きになり死亡。(産経新聞)
- ・車両塗装作業中、高所から転落し死亡。12月13日午前、福島県石川町の自動車メーカー工場で、高所作業台で車両の塗装作業をしていた60代男性作業員が、踏み台から約2m下に転落して死亡。(福島民友新聞)
- ・ショベルカーのアームと建物の柱に挟まれ死亡。12月12日午後、新潟県長岡市の建物解体作業現場で、油圧ショベルに作業指示を出していた60代男性作業員が、ショベルカーのアームと建物の柱に挟まれて死亡。(新潟日報)
- ・横転した重機の下敷きになり死亡。12月10日午前、千葉県君津市の太陽光発電施設で、80代男性作業員が重機を運転して補強作業中に斜面で横転、重機の下敷きになり死亡。(千葉日報)
- ・足場の解体作業中に転落し重傷。12月9日午前、長野県塩尻市の公園敷地内の工事現場で、20代男性作業員が足場の解体作業中に高さ約5mから転落し、右脚骨折の重傷。(信濃毎日新聞)
- ・パワーショベルが転倒、作業員が挟まれ死亡。12月8日午後、愛知県あま市の菓子メーカー敷地内で、作業後にパワーショベルをトラックに乗せる際にパワーショベルが転倒、60代男性作業員が地面との間に挟まれて死亡。(中日新聞)
- ・作業船の装置破損、船員が重傷。12月8日午前、鹿児島県馬毛島の整備中の自衛隊基地の係留施設工事海域で、作業中の旋回式起重機船の装置が破損、壊れた機械の鋼材が当たって40代男性船員が胸や右脚骨折の重傷。(南日本新聞)
- ・休憩に気付かずトラック発進、はねられて重傷。12月7日午後、兵庫県明石市の水道管工事の市道で、60代男性作業員が路上で休憩していることに気付かず別の作業員がトラックを発進、休憩中の作業員がはねられて重傷。(神戸新聞)
- ・道路が陥没し水があふれる。12月7日午後、大阪市淀川区で、下水管の工事が行われていたところトラブルが発生、道路が約20mに渡って陥没し水があふれる。(読売テレビ)
- ・漁船が転覆し、2人死亡。12月6日午後、宮城県宮崎市の大淀川河口付近で漁船が転覆。乗っていた6人全員が救助されたが、50代男性の船長と60代男性の2人が死亡。(宮崎放送)
- ・高所作業車で首を挟まれて死亡。12月4日午前、兵庫県姫路市の鉄鋼メーカーの工場内で、高所作業車の上部で作業していた40代男性作業員が、天井の梁と作業台の間に首を挟まれて死亡。(神戸新聞)
- ・鉄塔から作業員が転落し死亡。12月2日午前、滋賀県東近江市の鉄塔で、鉄塔の25m付近で電線の張り替え作業をしていた40代男性作業員が、作業を終えて地上に降りる途中で転落して死亡。(京都新聞)
- ・外れたタイヤが直撃し死亡。12月1日午後、青森県八戸市の八戸自動車道下り線で、走行中の大型トラックのタイヤが外れて路肩で作業していた作業員を直撃、30代作業員が死亡、60代作業員がケガ。(河北新報)
- ・フォークリフトに足をひかれて重傷。11月30日深夜、群馬県大泉町の会社倉庫で、仕分け作業をしていた60代アルバイト男性が、他の従業員が後退させたフォークリフトに左足をひかれて骨折の重傷。(上毛新聞)